

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 登録実用新案公報 (U)

(11) 実用新案登録番号
実用新案登録第3220524号
(U3220524)

(45) 発行日 平成31年3月14日 (2019. 3. 14)

(24) 登録日 平成31年2月20日 (2019. 2. 20)

(51) Int.Cl.		F I	
C 0 9 J	7/00	(2018. 01)	C 0 9 J 7/00
B 3 2 B	27/00	(2006. 01)	B 3 2 B 27/00 M

評価書の請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 6 頁)

(21) 出願番号	実願2018-4681 (U2018-4681)	(73) 実用新案権者	518264365
(22) 出願日	平成30年12月3日 (2018. 12. 3)		ユーベイベーベイビー リミテッド
(31) 優先権主張番号	201820571788. 5		U b a b y b a b y L t d .
(32) 優先日	平成30年4月20日 (2018. 4. 20)		香港, クオリーベイ, キングスロード 1 0
(33) 優先権主張国	中国 (CN)		6 7, ツンフーインダストリアルビルディ
			ング, 8 / F, 1 7 号室
		(74) 代理人	100163991
			弁理士 加藤 慎司
		(72) 考案者	カン, チャン
			香港, クオリーベイ, キングスロード 1 0
			6 7, ツンフーインダストリアルビルディ
			ング, 8 / F, 1 7 号室

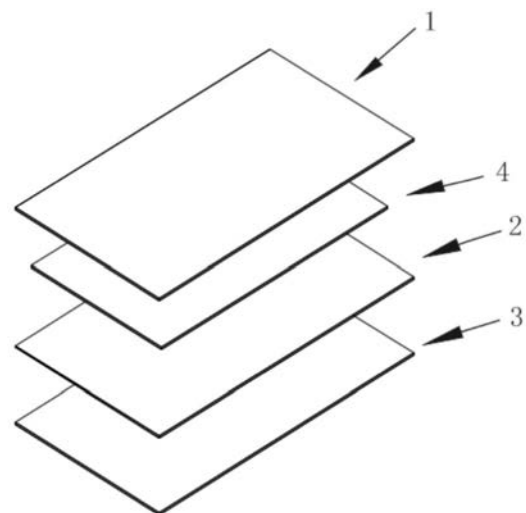
(54) 【考案の名称】 繰り返し貼着可能なラミネートフィルム

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】被貼付物上に繰り返し貼着でき、直接洗浄することも可能であり、手軽で環境にやさしく、貼付時間を節約すると同時に手動により接着剤で貼付した場合のように汚れることがなく、被貼付物の表面の美観を損なわないラミネートフィルムを提供する。

【解決手段】ラミネートフィルムは、上フィルム1と、上フィルム1の一側面に配置され、かつ上フィルムに連接された下フィルム2と、下フィルム2の一側面に配置され、かつ下フィルム2に連接された保護フィルム3を含み、該下フィルム2と該保護フィルム3が連接された一側面上に改質シリカゲルを備え、資料ページ4を上フィルム1と下フィルム2の間に配置し、ラミネート後、下フィルム2の一側面の保護フィルム3を剥がすと、ラミネート後の資料ページ4を任意の表面が滑らかな被貼付物上に貼着することができる。

【選択図】 図2



【実用新案登録請求の範囲】**【請求項 1】**

繰り返し貼着可能なラミネートフィルムであって、上フィルムと、該上フィルムの一側面に配置され、かつ該上フィルムに接続された下フィルムを含み、さらに、該下フィルムの下方に設けられ、かつ該下フィルムに接続された保護フィルムと、該上フィルムの底面側に設けられ、かつ該上フィルムに接続された第 1 ホットメルト接着剤部材と、該下フィルムの上面側に設けられ、かつ該下フィルムに接続された第 2 ホットメルト接着剤要素と、該下フィルムの他方の一側面に設けられた改質シリカゲルを含み、該改質シリカゲルが該保護フィルムに接続されたことを特徴とする、繰り返し貼着可能なラミネートフィルム。

【請求項 2】

前記上フィルムと、該下フィルムと、該保護フィルムの形状と大きさが一致していることを特徴とする、請求項 1 に記載の繰り返し貼着可能なラミネートフィルム。

【請求項 3】

前記上フィルムと、該下フィルムと、該保護フィルムの厚さが任意の厚さであることを特徴とする、請求項 1 に記載の繰り返し貼着可能なラミネートフィルム。

【考案の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本考案はラミネートフィルムに関し、より具体的には、繰り返し貼着可能なラミネートフィルムに関する。

【背景技術】**【0002】**

紙製品で製造された製品、例えば写真や証書、絵画等の資料ページは、長期間空气中に放置すると酸化して損壊したり、保存方法が不適切で液体が付着して損壊したりする可能性があり、かつ紙製品は比較的脆弱であるため、外力を受けて破損しやすい。科学技術の発展に伴い、フィルムラミネート技術が出現し、フィルムラミネートはポストプレスラミネートとも呼ばれるが、フィルムラミネーターを使用して印刷物の表面を一層の厚さが 0.012～0.020mm の透明プラスチック薄膜で被覆して紙とプラスチックを一体とした製品を形成する加工技術を指す。一般に、用いる技術に基づいてフィルムコーティングとプレコートフィルムの 2 種類に分けることができ、薄膜材料の違いに基づき、光沢フィルムとマットフィルムの 2 種類に分けることができる。所謂光沢フィルムとマットフィルムをまとめてラミネートフィルムと呼び、ラミネートフィルムは一般に上フィルムと下フィルムに分けられ、ラミネーションが必要な資料ページを上フィルムと下フィルムの間に配置した後、ラミネーションを行う。ラミネーション方法にはホットラミネートとコールドラミネートの 2 種類がある。ホットラミネートは多段階式の温度制御を利用し、ロール加熱方式で高温を発生してラミネートフィルムと資料ページに定型処理を行う。コールドラミネートは粘性または磁性を有するラミネートフィルムを採用し、加熱の必要なくラミネートフィルムと資料ページに定型処理を行う。一般に、上フィルムと下フィルムの幅は資料ページの幅より大きい必要があり、それによりラミネーション完了後資料ページ全体が上フィルムと下フィルムの間に貼り合わされ、空気を最大限隔絶し、液体も浸入しにくくして、資料ページを効果的に保護する。

【0003】

しかしながら、現在のラミネートフィルムはラミネーション機能しかなく、資料ページのラミネーション完了後にそれを貼り付けたい場合、別途接着剤を塗布したり、その他の方法で被接着物上に貼り付けたりする必要がある、非常に不便で、取り外しにくく、取り外した後も跡が汚く残り、被貼付物の視覚的美観効果に影響しやすい。

【考案の概要】**【考案が解決しようとする課題】****【0004】**

現有技術における上述の欠点を克服するため、本考案の目的は、資料ページをラミネート

10

20

30

40

50

して保護できるだけでなく、ラミネート後壁面やその他の被貼付物上に貼付でき、繰り返し貼り付け可能であるため、環境にやさしく、かつ壁面やその他の被貼付物に損害を発生することがなく、取り外した後被貼付物の美観効果に影響せず、繰り返し何度も使用した後、汚れた場合は直接洗浄でき、簡単かつ便利な、繰り返し貼着可能なラミネートフィルムを提供することにある。

【課題を解決するための手段】

【0005】

上述の目的を実現するため、本考案の繰り返し貼着可能なラミネートフィルムは、上フィルムと、該上フィルムの一側面に配置され、かつ該上フィルムに接続された下フィルムを含み、さらに該下フィルムの下方に配置され、かつ該下フィルムに接続された保護フィルムと、該上フィルムの底面側に設けられ、該上フィルムに接続された第1ホットメルト接着剤要素と、該下フィルムの上面側に設けられ、かつ該下フィルムに接続された第2ホットメルト接着剤要素と、該下フィルムの他方の一側面に設けられた改質シリカゲルを含み、該改質シリカゲルが該保護フィルムに接続され、該保護フィルムが該改質シリカゲルを保護するために用いられる。

10

【0006】

好ましくは、該上フィルムと、該下フィルムと、該保護フィルムの形状と大きさが一致しており、貼合も便利であり、材料の利用を最大化し、材料の無駄を回避できる。

【0007】

好ましくは、該上フィルムと、該下フィルムと、該保護フィルムの厚さが任意の厚さとすることができ、実際の状況と具体的な要求に適合させることができる。

20

【考案の効果】

【0008】

現有技術と比較して、本考案の有益な効果は次のとおりである。本考案の繰り返し貼着可能なラミネートフィルムは、上フィルムと、上フィルムの一側面に配置され、かつ上フィルムに接続された下フィルムと、下フィルムの一側面に配置され、かつ下フィルムに接続された保護フィルムを含み、該下フィルムと該保護フィルムが接続された一側面上に改質シリカゲルを備え、資料ページを上フィルムと下フィルムの間に配置し、ラミネート後、下フィルムの一側面の保護フィルムを剥がすと、ラミネート後の資料ページを任意の被貼付物上に貼着することができ、下フィルムの一側に設けられているのが改質シリカゲルであるため、ラミネート後の資料ページを繰り返し貼着使用でき、かつ被貼付物の外観が損なわれず、水で直接洗浄でき、手軽で環境にやさしい。

30

【0009】

本考案の実施例または現有技術における技術手段をよりはっきりと説明するために、以下で実施例または現有技術における技術手段の説明に必要な添付図面について簡単に紹介する。当然ながら、以下の説明における図面は単に本考案に記載したいくつかの実施例であり、考案の属する技術分野において通常の知識を有する者であれば、創造的な労力を費やさず、これらの図面に基づいてその他の図面を得ることができるであろう。

【図面の簡単な説明】

【0010】

【図1】本考案の実施例が提供する繰り返し貼着可能なラミネートフィルムの立体外観図である。

40

【図2】図1の分解図である。

【図3】図1のA部分の拡大図である。

【考案を実施するための形態】

【0011】

本考案の実施例の目的、技術、利点をより明らかにするために、以下、本考案の実施例の図面を組み合わせ、本考案の実施例における技術手段についてははっきりと完全に説明するが、当然ながら、説明に用いる実施例は単に本考案の実施例の一部であり、全部の実施例ではない。本考案の実施例に基づき、考案の属する技術分野において通常の知識を有する

50

者が創造的な労力を費やさない前提下で得られるすべてのその他の実施例は、いずれも本考案の保護範囲に含まれる。

【0012】

本考案の実施例は繰り返し貼着可能なラミネートフィルムを提供する。図1～図3に示すように、本考案の繰り返し貼着可能なラミネートフィルムは、上フィルム1と、該上フィルム1の一側面に配置され、かつ該上フィルム1に接続された下フィルム2と、該下フィルム2の下方に設けられ、かつ該下フィルム2に接続された保護フィルム3と、該上フィルム1の底面側に設けられ、かつ該上フィルム1に接続された第1ホットメルト接着剤部材と、該下フィルム2の上面側に設けられ、かつ該下フィルム2に接続された第2ホットメルト接着剤要素と、該下フィルム2の他方の一側面に設けられた改質シリカゲルを含み、該改質シリカゲルが該保護フィルム3に接続され、該第1ホットメルト接着剤要素と該第2ホットメルト接着剤要素を用いてラミネーションが行われ、該下フィルム2の一側面に配置され、かつ該下フィルム2に接続された該保護フィルム3が、該下フィルム2が該保護フィルム3に接続された一側面上に設けられた該改質シリカゲルを保護し、それが使用されるまでの過程で完全性を保つために用いられ、その構造が簡単で、便利に生産でき、生産コストの抑制に有利である。

10

【0013】

資料ページ4のラミネーション時は、資料ページ4を上フィルム1と下フィルム2の間に配置してラミネーションを行うと、第1ホットメルト接着剤要素と第2ホットメルト接着剤要素がラミネーターの高温下で溶解され、資料ページ4がラミネートされる。使用時は、下フィルム2の一側に貼合された保護フィルム3を剥がすと、それを表面が滑らかな被貼付物上に貼着することができ、別途接着剤を使用したり、その他の方法を使用してラミネーション済みの資料ページ4を貼り付けたりする必要がなく、貼付時間を節約すると同時に手動により接着剤で貼付した場合のように汚れることがない。下フィルム2の一側に貼合されているのは改質シリカゲルであるため、ラミネーション済みの資料ページ4を移動させる必要があるときは、それを被貼付物上から剥がして別の位置に再度貼着すればよく、繰り返し使用でき、環境にやさしい。かつシリカゲルは水といかなる反応も生じないため、使用過程で汚れた場合も、直接洗浄でき、改質シリカゲルの粘着強度に影響を生じることがなく、非常に実用的である。

20

【0014】

該上フィルム1と、該下フィルム2と、該保護フィルム3の形状と大きさは一致しており、貼合も便利であり、材料の利用を最大化し、材料の無駄を回避できる。

30

【0015】

該上フィルム1と、該下フィルム2と、該保護フィルム3の幅はラミネートする資料ページの幅より大きい必要があり、ラミネーション過程で、資料ページ4の辺縁位置が完全に上フィルム1と下フィルム2内に配置され、空気や液体が資料ページ4の辺縁から内部に浸入し、資料ページ4が破損することがないようにすると同時に、紫外線の資料ページ4に対するダメージも防止することができる。

【0016】

該上フィルム1と、該下フィルム2と、該保護フィルム3の厚さは任意の厚さとすることができ、実際の状況と具体的な要求に適合させることができる。

40

【0017】

該上フィルム1は光沢フィルム、マットフィルムまたは表面に装飾模様が加工されていてもよく、異なる表面質感の要件に対応させることができる。

【0018】

上述をまとめると、本考案は構造が簡単で、便利に生産でき、生産コストの抑制に有利であり、被貼付物上に繰り返し貼着でき、直接洗浄することも可能であり、手軽で環境にやさしく、貼付時間を節約すると同時に手動により接着剤で貼付した場合のように汚れることがなく、被貼付物の表面の美観を損なわない。

【0019】

50

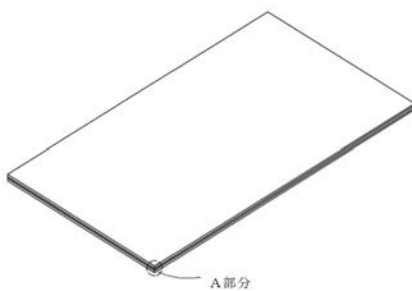
上述の実施例は本考案の最良の実施方式であるが、本考案の実施方式は上述の実施例に限られず、その他本考案の実質的要旨と原理を逸脱しない同等効果を有するあらゆる変更、修飾、置換、組み合わせ、簡素化はいずれも本考案の保護範囲内に含まれる。

【符号の説明】

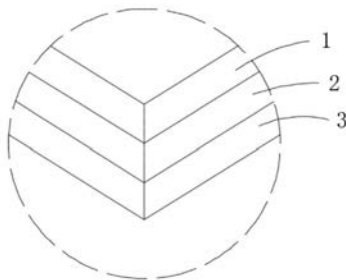
【0020】

- 1 上フィルム
- 2 下フィルム
- 3 保護フィルム
- 4 資料ページ

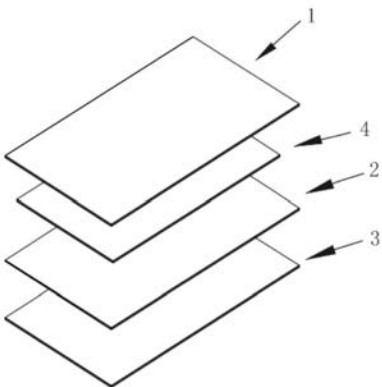
【図1】



【図3】



【図2】



【手続補正書】

【提出日】平成30年12月26日(2018.12.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本考案の実施例は繰り返し貼着可能なラミネートフィルムを提供する。図1～図3に示すように、本考案の繰り返し貼着可能なラミネートフィルムは、上フィルム1と、該上フィルム1の一側面に配置され、かつ該上フィルム1に接続された下フィルム2と、該下フィルム2の下方に設けられ、かつ該下フィルム2に接続された保護フィルム3と、該上フィルム1の底面側に設けられ、かつ該上フィルム1に接続された第1ホットメルト接着剤要素と、該下フィルム2の上面側に設けられ、かつ該下フィルム2に接続された第2ホットメルト接着剤要素と、該下フィルム2の他方の一側面に設けられた改質シリカゲルを含み、該改質シリカゲルが該保護フィルム3に接続され、該第1ホットメルト接着剤要素と該第2ホットメルト接着剤要素を用いてラミネーションが行われ、該下フィルム2の一側面に配置され、かつ該下フィルム2に接続された該保護フィルム3が、該下フィルム2が該保護フィルム3に接続された一側面上に設けられた該改質シリカゲルを保護し、それが使用されるまでの過程で完全性を保つために用いられ、その構造が簡単で、便利に生産でき、生産コストの抑制に有利である。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】実用新案登録請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【実用新案登録請求の範囲】

【請求項 1】

繰り返し貼着可能なラミネートフィルムであって、上フィルムと、該上フィルムの一側面に配置され、かつ該上フィルムに接続された下フィルムを含み、さらに、該下フィルムの下方に設けられ、かつ該下フィルムに接続された保護フィルムと、該上フィルムの底面側に設けられ、かつ該上フィルムに接続された第1ホットメルト接着剤要素と、該下フィルムの上面側に設けられ、かつ該下フィルムに接続された第2ホットメルト接着剤要素と、該下フィルムの他方の一側面に設けられた改質シリカゲルを含み、該改質シリカゲルが該保護フィルムに接続されたことを特徴とする、繰り返し貼着可能なラミネートフィルム。

【請求項 2】

前記上フィルムと、該下フィルムと、該保護フィルムの形状と大きさが一致していることを特徴とする、請求項1に記載の繰り返し貼着可能なラミネートフィルム。

【請求項 3】

前記上フィルムと、該下フィルムと、該保護フィルムの厚さが任意の厚さであることを特徴とする、請求項1に記載の繰り返し貼着可能なラミネートフィルム。